

IgG4関連眼疾患分科会報告

分科会長 後藤 浩 東京医科大学眼科主任教授

研究要旨 IgG4関連眼疾患にみられる眼症状ならびに視機能障害の実態を把握すべく、多施設における多数例の解析を計画した。先行して自験例92症例について同様の検討を行った。IgG4関連眼疾患では一定の割合で視力低下や視野障害などの視機能障害を来することが判明し、今後の重症度分類の確立に反映させていく予定である。

A. 研究目的

IgG4関連眼疾患の眼症状の頻度、特に視機能低例の実体を多施設で調査し、その結果をもとに重症度分類を確立する。

B. 研究方法

本研究班で編成された眼科部会の研究協力施設に対して、IgG4関連眼疾患の眼症状の頻度、特に視力低下、視野障害、眼球運動障害(複視)の詳細について調査を開始するにあたり、まずは自施設の92症例の解析を行う。全てのデータを整理し、特に視機能障害に繋がる症例の頻度、程度等をもとに重症度分類を作成していく。

(倫理面への配慮)

学内の倫理審査委員会承認済み

C. 研究結果

1997年～2017年に東京医大眼科でIgG4関連眼疾患と診断された92例の平均年齢は58.3歳、男性43例、女性49例、診断時の平均血清IgG4値は595.2 mg/dlで、確診群は48例、準確診群は10例、疑診群は33例、平均経過観察期間は27.1か月であった。病変は涙腺腫大82例(90.1%)、三叉神経腫大7例(7.8%)、外眼筋肥厚11例(12.1%)、眼窩内腫瘍5例(5.5%)、眼窩内びまん性腫瘍9例(9.9%)、眼瞼皮下25例(27.5%)、強膜1例(1.1%)、視神経

周囲7例(7.7%)、涙道1例(1.1%)、視神経(周囲)7例(7.7%)で、視力低下が11例(12.1%)、視野障害が5例(5.5%)、複視が11例(12.1%)、ドライアイが25例(27.5%)にみられた。なお、検索方法に問題点も残されているが、唾液腺腫大が30例(33.0%)、眼・唾液腺以外の病変が59例(64.8%)にみられた。

治療はステロイド内服62例(68.1%)、ステロイド局所注射29例(31.9%)で、経過観察期間中の再発は23例(25.3%)にみられた。

D. 考察

多施設調査に先立って行った自験例の解析では、生活の質(QOL)に影響を及ぼす視力低下および視野障害は、いずれも全症例の約10%にみられることが明らかとなった。これらの中にはステロイド治療によって改善が得られたケースもあれば、恒久的な障害が残存した症例も存在した。一方、眼球運動障害も20%以上の症例で確認された。これは既報と比較するとかなり高率な結果であるが、その原因として自施設では涙腺腫大を来している症例のほぼ全例に対して眼球運動障害を検出するための精密検査(HESS赤緑試験)を施行していることが考えられる今回、治療方法について改めて後る向きに調査下ところ、全体の76%でステロイドによる治療を施行、換言すれば24%は特に治療を行わずに経過観察のみを継続したことになる。このようなデータも今後は重症度分類の確立に向けた基礎データのひとつと成っていく物と考えられ

る。

E . 結論

IgG4関連眼疾患では一定の頻度、割合で視機能障害を生じる可能性がある。一方、軽症例も確実に存在するため、重症度分類の確立に向けて考慮すべきと思われる。

F . 研究発表

1. 論文発表

・ Shirakashi M, Yoshifuji H, Kodama Y, Chiba T, Yamamoto M, Takahashi H, Uchida K, Okazaki K, Ito T, Kawa S, Yamada K, Kawano M, Hirata S, Tanaka Y, Moriyama M, Nakamura S, Kamisawa T, Matsui S, Tsuboi H, Sumida T, Shibata M, Goto H, Sato Y,

Yoshino T, Mimori T: Factors in glucocorticoid regimens associated with treatment response and relapses of IgG4-related disease: a multicenter study. Sci Rep.8:10262, 2018.

・後藤 浩: IgG4 関連眼疾患の診断基準と重症度分類 眼科 60: 443-448, 2018.

・後藤 浩: IgG4 関連眼疾患の診断と治療 日本医事新報 4939: 34-38, 2018.

2. 学会発表

・後藤 浩: IgG4 関連疾患の診断基準ならびに診療指針の確立を目指す研究 眼疾患分科会, 2018年12月14日, 厚生労働科学研究費補助金 IgG4 関連疾患の診断基準ならびに診療指針の確立を目指す研究平成30年度班会議, 京都

・根本 怜, 臼井嘉彦, 馬詰和比古, 後藤 浩: IgG4 関連眼疾患における病変部位とその頻度, 第72回日本臨床眼科学会, 2018年10月12日, 東京

・朝蔭正樹, 臼井嘉彦, 小川麻里奈, 山川直之, 馬詰和比古,

根本 怜, 後藤 浩: RNAseq による IgG4 関連眼疾患における遺

伝子解析, 第33回日本眼窩疾患シンポジウム, 2018年9月8日, 東京

・臼井嘉彦: IgG4 関連眼疾患の現状と今後の課題 ゲノム・分子生物学的知見, 第122回日本眼科学会総会, 2018年4月20日, 東京

G . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得、2. 実用新案登録、3. その他
全てなし